2026年9月30日

取扱電子決済手段の概要説明書

目次

USDC **2**

この概要説明書は情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

【基礎情報】

	USDC				
日本語の名称	ユーエスディーシー				
現地語の名称	USDC				
呼称（日本語の名称と同じ場合はー表記）	ー				
ティッカーコード（シンボル）	USDC				
発行開始（年、月、日）	2018年9月10日				
時価総額（ドル基準、例：＄1.000.000）	$74,239,494,702（2026年9月13日終値基準）				
時価総額（円基準、例：￥100.000.000）	¥11,401,330,398,836（2026年9月13日終値基準）				
主な利用目的	送金、決済				
利用制限の有無	なし				
海外流通の有無	あり				
国内流通の有無	あり				
店舗等の利用制限の有無	なし				
利用制限を行う者の属性	ー				
利用制限の内容	ー				

一般的な性格	パブリック型ブロックチェーン上で利用されるUSDペッグの電子決済手段				
法的性格（資金決済法第2条第5項第1号、第2号、第3号、第4号の別　例：第1号）	2条5項1号				
2号の場合：相互に交換可能な1号電子決済手段の名称	ー				
発行電子決済手段に対する資産（支払準備資産）の有無および名称	あり（米ドル、米国債）				
発行者に対する保有者の支払請求権（買取請求権）	USDCは、Circle Mintアカウント保有者に対し、1 USDC = 1 USDでの償還請求権が認められている。ただし、Circle Mintは主に法人向けに提供されており、個人が直接償還請求を行うことは想定されていない。個人ユーザーによる償還は、通常、暗号資産取引所やウォレット事業者などの提携先を介して行われる。				
支払請求（買取請求）による受渡資産	Circle社は、USDCの償還において米ドル（USD）およびユーロ（EUR）での対応を提供している。日本円（JPY）での直接的な償還対応は行っていない。日本国内でのUSDCの日本円へ				

	の換金は、暗号資産取引所やウォレットサービスなどの第三者プラットフォームを介して行われるのが一般的である。				
発行者が保有者に付与するその他の権利	なし				
発行者に対して保有者が負う義務	なし				
価値の決定	1USD 相当				
交換（売買）の制限	交換の制限なし				
価値移転、保有情報を記録する電子情報処理組織の形態	パブリック型ブロックチェーン				
保有・移転記録台帳の公開、非公開の別	公開				
保有・移転記録の秘匿性	USDC は、Ethereum ブロックチェーン上に公開される ERC20 トークンである為、移転記録の秘匿性は Ethereum の記録台帳に依存する。 Ethereum の保有・移転の記録はパブリックブロックチェーンを採用している為、全て公開されている。しかし、移転記録上のトランザクションやアドレスから個人を特定をすることはできない。				

利用者の真正性の確認	利用者の真正性の確認方法として、USDCはEthereum上で発行されるERC20トークンであるため、Ethereumに依存する。Ethereumは秘密鍵と公開鍵を用いた暗号化技術により、利用者本人が発信した移転データを特定することで真正性の確認が可能。真正性の確認に必要な公開鍵は、ランダムに生成された秘密鍵をsecp256k1による楕円曲線暗号を使用することで生成している。				
価値移転記録の信頼性確保の仕組み	Proof of Stake（PoS） 価値移転記録の信頼性確保の仕組みは、Ethereumが採用しているProof of Stake（PoS）と呼ばれるコンセンサスアルゴリズムに依存する。PoSでは、記録者はブロックリワードを得るために ETHをステークしており、不正を行った場合にはステークしている ETH が破棄される可能性があるため、記録者が合理的な価値移転記録を行うようなインセンティブ設計によって信頼性を確保している。				
誕生時に技術的なベースとなったコインの有無とその名称（アルトコインのみ）	ETH				

【取引単位・交換制限】【連動する資産の有無等】【付加価値】

	USDC				
取引単位の呼称	USDC				
保有・移転記録の最低単位	0.000001 USDC				
交換可能な通貨又は電子決済手段	すべて可				
交換制限	なし				
制限内容	ー				
交換市場の有無	あり				
価値が連動する資産等の有無	あり				
価値連動する資産等の名称	米ドル（USD）				
価値連動する資産等の内容	米国の公式通貨（国際決済通貨、基軸通貨）				
価値連動する資産との交換の可否	可				
価値連動する資産との交換比率	1USD=1USDC				
価値連動する資産との交換条件	なし				
その他の付加価値（サービス）の有無	なし				
付加価値（サービス）の内容	ー				

過去3年間の付加価値（サービス）の提供状況	ー				

【発行状況】

	USDC				
発行者	あり				
発行主体の名称	Circle Internet Financial, LLC				
発行主体の所在地	1 World Trade Center, Floor 87, New York, NY 10007, USA				
発行主体の属性等	営利企業、非上場会社				
発行主体概要	Circle 社は、デジタル通貨とパブリック・ブロックチェーンの機能を、世界中の決済、商取引、金融アプリケーションに活用できるようにするグローバルな金融テクノロジー企業である。CircleはUSDCとEURCの発行者であり、これらはインターネット上で流動性が高く、相互運用可能で、かつ信頼できるマネー・プロトコルである。 Circleのオープンでプログラマブルなプラットフォームと API により、国際的な決済、グローバルにアクセス可能な Web3 アプリの構築などが実現できる。				
発行電子決済手段の信用力に関する説明	Circle 社は、発行した USDC の裏付資産を米国ほかの金融機関の口座において分別管理し、かつ、これ				

	を維持しているため、USDC は米ドルと1対1で交換可能である。 なお、Ciricle 社は、裏付資産の状況について、USDCの発行・還収のフローとともに週単位で開示しており、大手会計監査法人（Deloitte&Touche LLP）が、流通しているUSDCの総額を上回る裏付資産が管理されていることを保証するレポートを毎月提供している。				
発行方法	Circle 社が提供する Circle Mint の仕組みを活用して発行している。 Circle Mintは、企業や金融機関向けに設計されたプラットフォームで、以下の手順でUSDCの発行が行われる： １．ユーザーがCircleの銀行口座に米ドル（USD）を送金 ２．Circleが受け取ったUSDに相当するUSDCを発行（ミント） ３．発行されたUSDCがユーザーのCircle Mintアカウントに反映される				
発行可能数	上限なし				
発行可能数の変更可否	ー				

変更方法	ー				
変更の制約条件	ー				
発行済み数量	74,218,592,015.04 USDC（基準日時 2026年9月13日時点）				
今後の発行予定または発行条件	常に発行と償還で増減している。				
過去３年間の発行状況	常に発行と償還で増減している。				
過去３年間の発行理由	暗号資産取引所およびUSDCを活用するサービスに対し、クライアントおよびユーザーが必要とする量のUSDCを発行している。				

過去３年間の償却状況	2026年9月10日現在、過去30日で約360億ドル、過去1年間で約3,329億ドル分のUSDCが償却。				
過去３年間の償却理由	暗号資産取引所およびUSDCを活用するサービスに対し、クライアントおよびユーザーが償還に必要とする量のUSDCを償却している。				
発行者の行う発行業務に対する監査の有無	あり				
監査を実施する者の氏名又は名称	Deloitte&Touche LLP				
直近時点で行われた監査年月日	2026/8/27				
直近時点における監査結果	Circle社は毎月監査結果を公開している。 監査に関しては、世界四大会計事務所の「Deloitte Touche Tohmatsu」が行っており、監査結果として米国公認会計士協会が定めた認定基準に従って実施され、経営陣の主張の公正性および重大な虚偽表示やリスクなどに関しても、合理的根拠を元に公正かつ問題ないと判断されている。				

【価値移転記録台帳に係る技術】

	USDC				
ブロックチェーン技術の利用の有無	あり				
ブロックチェーンの形式	パブリック型				
ブロックチェーン技術を利用しない場合には、その名称	ー				
利用するブロックチェーン技術以外の技術の内容	ー				
価値移転認証の仕組み	台帳形式。価値移転認証を求める暗号データを記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確定する。				
価値記録公開/非公開の別	公開				
保有者個人データの秘匿性の有無	あり				
秘匿化の方法	公開鍵と秘密鍵による暗号化				

価値移転ネットワークの信頼性に関する説明	オープンネットワークの脆弱性に対し、暗号により連鎖する台帳群（ブロックチェーン）および記録者による多数決をもって移転記録が認証される仕組みを用い、多数の記録者のネットワークへの参加を得ることによって、データ改竄の動機を排除し、信頼性を確保する。 PoSにおけるActive Validatorの数は、909,685であり（2026年9月11日現在）、世界各地に分布されており、価値移転ネットワークは分散性が高い。				

【価値移転の記録者】

	USDC				
記録者の数	909,685（2026/9/11 時点）				
記録者の分布状況	米国、ドイツ、英国、中国など				
記録者の主な属性	不特定。バリデータソフトウェアを有効化するために32 ETHをデポジット（ステーキング）することで誰でも自由に記録者になることができる。				
記録の修正方法	トランザクションが記録者によって承認されると修正を行うことはできない。				
記録者の信用力に関する説明	記録者（バリデーター）には32ETHステーキングすれば誰でもなることができるが、記録者が悪意を持つ行動をおこなった場合、ステーキングしたETHが一部または全部没収される仕組みになっている				
価値移転の管理状況に対する監査の有無	なし				
監査を実施する者の氏名又は名称	―				
直近時点で行われた監査年月日	―				

その監査結果	―				
（統括者に関する情報）					
記録者の統括者の有無	―				
統括者の名称	―				
統括者の所在地	―				
統括者の属性	―				
統括者の概要	―				

【電子決済手段に内在するリスク】

	USDC				
価値移転ネットワークの脆弱性に関する特記事項	他のPoSを採用しているブロックチェーンと同様に、Ethereumの多数のバリデーター（記録者）が結託して取引の承認手続きを行うことで、記録台帳及びプログラムの改竄が可能であるが、記録者が十分に分散している状況では改竄は発生しにくいものと考えられる。				
発行者の破たんによる価値喪失の可能性に関する特記事項	USDCはブロックチェーン上に発行されるトークンであり、発行者であるCircle社が破たんした場合でも、技術的には消失しない。一方で、USDCは1 USDC = 1 USDという法定通貨に裏付けられた価値を持つステーブルコインであるため、Circle社が保有する準備資産が管理不能となることで、USDCの法定通貨としての償還機能が失われ、実質的に価値が喪失する可能性がある。				
価値移転記録者の破たんによる価値喪失の可能性に関する特記事項	ステーキングプールのLidoなど、バリデーターの占有率が高い記録者が破綻した場合、価格の下落が予想されるが、記録者の総数は90万以上存在し（2026年9月現在）、世界各地に分散されており十分な分散性があ				

	るため、価値喪失の可能性は低い。				
移転の記録が遅延する可能性に関する特記事項	USDCは主にEthereum上で発行・移転されるが、ネットワークが混雑した場合にはトランザクション処理が遅延し、移転の記録がブロックチェーンに反映されるまで時間を要することがある。この課題に対し、Ethereumでは2024年3月に「Proto-Danksharding（EIP-4844）」が実装された。 Proto-Dankshardingは、トランザクションデータの扱いを効率化することで、L2ネットワークのガス代を大幅に削減し、ネットワーク全体の処理能力を向上させるアップグレードである。これにより、過去に発生していたような記録遅延のリスクは軽減されたが、完全に解消されたわけではなく、極端な混雑時には引き続き一時的な遅延が起こり得る。 現在もEthereumのスケーラビリティ向上に向けた開発は継続されており、将来的には「Danksharding」などによって更なる処理能力の向上が見込まれている。				

プログラムの不具合によるリスク等 に関する特記事項	現時点でUSDCのスマートコントラクトには重大な脆弱性は確認されておらず、外部監査でも高リスクの問題は指摘されていない。ただし、Ethereum上のスマートコントラクトの構造上、今後新たな不具合や脆弱性が発見される可能性はあり、これらはその他のERC20系暗号資産にも当てはまり、USDC固有の懸念点ではない。				
過去に発生したプログラムの不具合の発生状況に関する特記事項	USDCとしては不具合の発生は確認されなかった。				
非互換性のアップデート(ハードフォーク）の状況	USDCの基盤となるEthereumにおいて直近3年間で以下のハードフォークが実施されている。 ① 2022年9月15日：Paris（The Merge） ② 2023年4月12日：Shapella（Shanghai + Capella） ③ 2024年3月13日：Dencun（Cancun + Deneb） ④ 2025年5月7日：Pectra（Prague + Electra） ⑤ 2025年12月3日：Fusaka（Fulu + Osaka）				
今後の非互換性アップデート予定	USDCの基盤となるEthereumにおいてはアップデートを目的としたハード				

	フォークが不定期に予定されている。				
正常な稼働に影響を与えたサイバー攻撃の履歴	とくになし。				

【流通状況】【その他事項】【概要説明書の更新年月日】

	USDC				
価格データの出所	出所：CoinMarketCap URL: https://coinmarketcap.com/currencies/usd-coin/				
１取引単位当たり計算単価（ドル基準、例：＄1.000.000）	$0.9999 （2026/9/13 時点）				
１取引単位当たり計算単価（円基準、例：￥100.000.000）	¥153.46 （2026/9/13 時点）				
ドル/円計算レート（基準日付）	1USD=￥153.540（2026/9/11 時点）				
四半期取引数量（現物、単位は百万円）	―				
その他事項（当社保有比率は、総発行枚数に対する利用者保有分の割合を指す）	当社で取扱うUSDCはEthereumチェーンのみに対応している。そのため、Ethereumチェーン以外を利用したUSDCの受取、送金には対応していない。				
更新年月日	2026年9月30日				